News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
発行責任者：校長　櫻井郁男
56 Harrison St. Suite204
New Rochelle, NY 10801 U.S.A.
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成２５年４月６日　　No. 1

保護者の皆様・先生方へ

教育目標に添えて

ニューヨーク補習授業校
校　長　　櫻井　郁男

教育目標
日本文化を身に付けた個性豊かな人間の育成を図る
広く物事を考えて自ら実践する人間の育成を図る

教育方針
・基礎的な教科の補習指導を通して、日本語(国語)能力の習得、保持、発展のための教育を行う。
・日本の教育の在り方を知り、基本的な生活習慣を培うことのできるような指導を行う。
・帰国児童・生徒が日本での生活に適応できるように、または在外児童・生徒が学習に効果を上げるように指導を行う。
・異文化の中で生活する児童・生徒の自己確立と心の安定の場として教育を行う。

本校は一昨年度創立 50 周年の節目を迎えました。何処の学校も歳を刻みますが､創立 50 周年は学校関係者にとって大いに感慨深い時と考えます。なぜなら学校創立当時にご苦労なさった方々がご健在であり、当時のご労苦を語って下さり、ここで学んだ子供たちは、立場社会の中核で、さまざまな組織で、意思決定の中心となっているからです。嬉しいことに保護者もいらっしゃるとか・・・。

さて本校の教育活動の歴史は、私自身これから皆さんより学ぶこととなりますが、私なりに理解していることが一点だけあります。

それは多様という言葉で表現できそうです。

さまざまな時期に
さまざまな国・地域から
さまざまな背景を持ち
さまざまな個性を持った

子どもたちが先生方の指導を求めているのです。

一方、国際都市ニューヨーク発の言葉にグローバル化・フラット化という文言があります(トーマス フリードマン)。この文言も「さまざまな」という表現に行きつくでしょう。

では、本校の教育活動はどのような視点に立つべきでしょうか。その答えは「原点に立脚する」ことと判断します。子どもたちに「日本語環境を」との願いで創立された本校。本校の教育目標は 50 年の歴史の中で培われてきたものです。この原点に立脚した教育目標を掲げ、国際社会で生き抜く、日本人と米国市民のアイディンティティーを兼ね備えた人材を日本人社会の思いを受け止め、保護者の皆様と共に育成していきましょう。

自己紹介
食品会社で数年勤務後、東京都の公立中学（生徒数 1000 余名)の教員となりました。
専門は理科。教員時代はサッカー部の顧問。
平成元年に東京都教職員海外派遣研修でヨーロッパの教育事情視察研修。このときにロンドン日本人学校在学中の児童とお父さんが我々のホテルに訪ねてきました。ここで私は日本人学校の存在を知りました。(教員養成大学卒ではないので、何も分からず理科実験とサッカーに明けくれていました)
30代半ばに在外教育施設派遣教員に応募しましたが、「管理職試験が先でしょ」と指導され、引き下がりました。日本人学校経験は香港日本人学校中学部校長のみです。
前任の小野校長先生とはシンガポール・バンコックで開催された、アジア大洋州地区校長会でご一緒させていただきました。
アメリカとのご縁は、JAXA とのご縁で利島小・中学校時代にで開発した「ストローロケット」がヒューストンで打ち上げ？られたことです。